



太陽光発電パネルを備えた住宅

公共施設の屋根貸しで 太陽光発電の推進を

佐藤議員 太陽光発電の普及に取

組む栃木県は県有施設の屋根を発電に活用する屋根貸し事業を行うとのことである。県内では足利市が既にスタートしており、佐野市でも十二月議会一般質問で、市長が積極的に支援したいとの答弁があった。本市においても、学校など公共施設の屋根貸し事業に取組んでどうか。

産業環境部長 屋根の貸し出しに当たっては、建物が昭和五十六年六月以降の耐震基準であることなどの要件を満たす必要がある。また、施設規模については、栃木県

や栃木市の例では太陽光発電のスケールメリットを考慮し、同一敷地内にある建物の合計建築面積がおおむね千平方メートル以上の施設としている。市の施設のうち、

このような条件をクリアする施設は、旧真岡コンピュータ・カレッジ、市立図書館、総合福祉保健センター、市営三ノ宮団地、真岡中学校など二十九施設あるが、さらなる条件として、一つには施設の

利用実態等を考慮し、先進事例で見られる貸し出し期間となる二十年間安定的に使用が可能であるか。二つには、設置する屋根が十分な積載に耐え得る構造であり、耐久性や安全性に問題がないかについて個々の施設ごとに詳細な調査、検討を行う必要がある。

今後、貸し出し対象候補となる各施設において、施設の利用実態等を踏まえ、詳細な調査を行うかどうかを含めて検討していく。

高齢者見守り支援策による 高齢者の孤独死対策を

荒川議員 全国の孤独死のうち、料金滞納で電気、ガスなどの供給

が止められた状態で発見される事案が相次いでいる。

本市としても、事業者からの情報を共有する体制や地域の高齢者見守りネットワークをより緊密にして、盤石な体制を整えておくことが重要な課題ではないか。

市長 真岡市の十一月末現在における高齢者のみの世帯は、約二千四百二十世帯であり、今後さらに増加する。高齢者の孤立防止に係る取組みとして、実態把握を民生委員や地域包括支援センター職員の訪問調査や緊急通報装置の設置、日赤地域奉仕ボランティアによる安否確認事業のハローコール、社会福祉協議会が行う配食サービス事業などを行っている。また、新聞がたまっていくなどの通報があった場合は職員がすぐに出向き、安否確認を行っている。

地域が主体となる地域福祉づくり事業の高齢者等見守りネットワーク事業は、平成二十三年度から並木町区の先進事例をもとに十四区が地域の特性に応じた形で動き出している。平成二十三年度は、

東日本大震災の教訓もあり、平時時から地域のネットワークを構築する必要が高まり、区によってはきめ細かな区域内の防災マップ

作成などを行っている。今後、地域での高齢者等見守りネットワーク事業については、全市的に拡大していけるよう支援したいと考えている。

東日本大震災の教訓もあり、平時時から地域のネットワークを構築する必要が高まり、区によってはきめ細かな区域内の防災マップ

市ホームページに 「こころの体温計」開設を

荒川議員 市ホームページで気軽に

心の健康状態がチェックできる「こころの体温計」を開設してはどうか。「こころの体温計」には、本人モード、家族モード、ストレス対処タイプテストなどがあり、質問に回答しながらストレスや落ち込み度を診断することがで



真岡市のホームページ

きる。また、悩みや心配事の内容に応じた相談窓口の連絡先を結果画面で紹介することで、心の病気などの早期発見、対応につながる。ぜひ、うつ病などの早期発見を促すためにも、携帯電話やパソコンで手軽に心の状態をチェックできる「こころの体温計」の導入を提案する。

健康福祉部長 「こころの体温計」は、携帯電話やパソコンを利用してストレス度や落ち込み度を簡単に調べる事ができるインターネット上のサービスで、いくつかの質問に答えることで自分や家族の状態がチェックできるものである。表示された結果を確認することで心の状態やストレスを把握することができ、心の病や自殺防止に効果があると考えられる。県内では、那須塩原市が本年九月より開設している。

本市における心の健康への取組みについては、講演会などを通じて市民に啓発を行っており、心の健康相談窓口などが記載されたパンフレットの配布によりお知らせをしているところである。「こころの体温計」のホームページの開設については、心の健康への取組みの一つとして検討したい。

本市における心の健康への取組みについては、講演会などを通じて市民に啓発を行っており、心の健康相談窓口などが記載されたパンフレットの配布によりお知らせをしているところである。「こころの体温計」のホームページの開設については、心の健康への取組みの一つとして検討したい。